

必ずお読みください！

注 意 書

令和7年4月1日から、沖縄支部、名護支部、平良支部及び石垣支部の不動産等競売事件は那覇地方裁判所本庁で取り扱うことになりました。

これに伴い、本件は支部から那覇地方裁判所本庁に回付され、那覇地方裁判所本庁において売却を実施しております。

入札にあたっては、公告書に表示された事件番号（番号が5桁のもの）を記載した入札書を那覇地方裁判所本庁の執行官室に提出してください。また、入札保証金は那覇地方裁判所本庁あての振込依頼書（振込先が「ナハチサイ」となっているもの）を利用し、那覇地方裁判所本庁あてに振り込んでください。

なお、誤って入札保証金を支部に振り込んだ場合は無効となり、那覇地方裁判所本庁に対して入札終了日までに別途振り込む必要がありますので、ご注意ください。

※誤って振り込まれた入札保証金の還付には数週間を要する場合があります。

【入札に関する問い合わせ】 那覇地方裁判所本庁 執行官室

電話番号 098-833-1422（直通）

【上記以外の問い合わせ】 那覇地方裁判所本庁 不動産執行係

電話番号 098-918-3328（直通）

令和2年4月1日に売却実施処分された分から制度が変わりました。

- 暴力団員等や、役員に暴力団員等がいる法人は、買受人となれません。
- 暴力団員等から資金の提供を受けた個人・法人は、買受人となれません。

今回の入札開始分から入札時に
下記の各書面の提出が入札書毎に必要になります。

1 暴力団員等に該当しない旨の**陳述書**（個人・法人を問わず）

※入札時に提出がないと入札無効となります（追完不可）。

※記載に不備があった場合、入札が無効になる場合があります。

※提出後の訂正はできません。

2 **住民票**（個人の場合）・**資格証明書**（法人の場合）

※入札時に提出がないと入札無効となります（追完不可）。

※法人の場合は従前どおり資格証明書の提出が必要ですが、個人の場合も住民票の提出が必須になりました。

※住民票は、氏名・住所・生年月日・性別の記載があり、マイナンバーが記載されていないものを提出してください。

※入札する日において発行後3か月以内のものを提出してください。

3 宅地建物取引業の免許証の写し（宅地建物取引業者の場合）

※有効期限内のものを提出してください。

陳述書の記載についての注意

☐ ↑	自己の計算において私に買受けの申出をさせようとする者は、別紙「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者に関する事項」記載のとおりです。 (注意書9参照) この者は、暴力団員等又は暴力団員等が役員である法人ではありません。
-------------------------------	--

□のチェックは該当する者（買受申出人に資金を渡すなどして買受けをさせようとする者をいいます。）がいる場合のみ行い、該当する者がいない場合には□にチェックをしないでください。

チェックを入れた場合は、別紙の「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者に関する事項」の添付が必要になります（陳述書の提出は必要）。

該当事項の記載が終了したら、必要書類のみを提出してください。

（入札方法に関する問い合わせ）

那覇地方裁判所執行官室 ☎098-833-1422

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年 8月 5日

那覇地方裁判所

裁判所書記官 横 山 直 子

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7年 8月 27日 午前 9時00分から 令和 7年 9月 3日 午後 5時00分まで
開札期日 場 所	令和 7年 9月 10日 午前 9時30分 那覇地方裁判所売却場
売却決定 期日 場 所	令和 7年 10月 1日 午前 9時45分 那覇地方裁判所
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限（民事執行規則33条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7年 8月 5日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



※13※

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 6 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
2	1,930,000 1,544,000		386,000	1,703	0



物 件 目 録

2 所 在 宮古島市下地字洲鎌ニシタナ子

地 番 9 2 5 番 3

地 目 畑

地 積 4 1 0 平方メートル

(現況)

地 目 雑種地



物 件 明 細 書

令和 7年 1月16日

那覇地方裁判所平良支部

裁判所書記官 上 盛 恭 児

1 不動産の表示

【物件番号2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

Bが占有している。同人の占有権原は使用借権と認められる。

同人所有の売却対象外建物（未登記）が本件土地上に存在する。

5 その他買受けの参考となる事項

本件土地の現況は農地ではない旨の農業委員会の回答がある。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。（このほか、B I Tのお知らせメニューにも掲載されています。）

物 件 目 録

2 所 在 宮古島市下地字洲鎌ニシタナ子

地 番 9 2 5 番 3

地 目 畑

地 積 4 1 0 平方メートル

(現況)

地 目 雑種地



令和 6 年(ヌ)第 4 号
令和 6 年 8 月 8 日受理
令和 年 月 日提出
6.10.28

現況調査報告書

(物件 2)

那覇地方裁判所平良支部

執行官 具 志 恒 則

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | | |
|---|---|---|----------------|
| 1 | 所 | 在 | 宮古島市下地字洲鎌オホナ |
| | 地 | 番 | 6 8 2 番 2 |
| | 地 | 目 | 畑 |
| | 地 | 積 | 4 9 3 9 平方メートル |
| 2 | 所 | 在 | 宮古島市下地字洲鎌ニシタナ子 |
| | 地 | 番 | 9 2 5 番 3 |
| | 地 | 目 | 畑 |
| | 地 | 積 | 4 1 0 平方メートル |



(土地用)

不 動 産 の 表 示	「物件目録」のとおり				
住 居 表 示	(住居表示未実施)				付 近
土 地	物件 2				
現 況 地 目	☐ 宅地 (物件) ☐ 公衆用道路 (物件) ☐ 農地 (物件) ☒ 雑種地 (物件 2) ☐ 山林 (物件) ☐ ☐				
形 状	☒ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐				
占 有 者 及 び 占 有 状 況	☐ 土地所有者 ☒ その他の者 ☒ 上記の者が本土地上に、下記目的外建物を所有し、占有している。 ☐ 上記の者が駐車場として使用し、占有している。 ☐ 上記の者が更地の状態で占有している。 ☐ ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり ☐				
そ の 他 の 事 項	☒ 宮古島市農業委員会の農地等の現況に係る照会に対する調査結果は次のとおり。 本件物件は、農振地域外に存在し、現況地目は非農地である。買い受けを希望する者は買受適格証明の提出は不要である。 ☒ 本物件は南東側で市道に接している (評価人調査) 。				
執 行 官 保 管 の 仮 処 分	☒ ない ☐ ある [地方裁判所 支部 平成 年 () 第 号 保管開始日 平成 年 月 日]				
建 物 (目 的 外 建 物)	☐ ない ☒ ある (詳細は「目的外建物の概況」のとおり)				
土地建物の位置関係	☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり				

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(占有関係用〈単独〉)

占有者及び占有権原 (物件2 関係)			
占有範囲		■全部 ☐	
占有者		☐ 債務者 ■B	
占有状況		■敷地 ☐ 駐車場 ☐ ☐ 居宅 ☐ 事務所 ☐ 店舗 ☐ 倉庫 ☐	
■関係人(■C (占有者の子) ☐ ())の陳述／ ☐ 提示文書()の要旨			
占有権原		☐ 賃借権 ■使用借権 ☐	
占有開始時期		平成29年 7月21日 (Aに対する所有権移転日)	
最初の	契約日	年 月 日	
契約等	期間	年 月 日から ☐ 年 月 日まで 年間 ☐ 期間の定めなし	
更新の種類別		☐ 合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新	
現在の	期間	年 月 日から ☐ 年 月 日まで 年間 ☐ 期間の定めなし	
契約等	貸主	■所有者 ☐ その他の者 ()	
当事者	借主	■占有者 ☐ その他の者 ()	
賃料・支払時期等		毎 金 円 (毎 限り 分支払) ☐ 前払 (分 円) ☐ 相殺 (分 円)	
敷金・保証金		☐ ない ☐ ある (☐ 敷金 円 ☐ 保証金 円)	
特約等		☐ 譲渡・転貸を認める ☐	
その他			
執行官の意見		■上記のとおり ☐ 下記のとおり ☐ 「執行官の意見」のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり

(目的外建物用〈単独〉)

目的外建物の概況 (物件2関係)	
所 在	宮古島市下地字洲鎌 9 2 5 番地3
家 屋 番 号	☒ ない (未登記) ☐
種 類	☐ 居宅 ☐ 店舗 ☐ 共同住宅 ☐ 工場 ☒ 倉庫・畜舎 ☐
構 造	コンクリートブロック造コンクリート屋根平家建
床 面 積 (概 略)	約107㎡
所 有 者	☐ 土地所有者 ☒ その他の者 (B) ☐ 不明
建 築 時 期	☐ 年 月 日ころ ☒ 不明
建 築 者	☐ 現所有者 ☒ その他の者 (B) ☐ 不明
そ の 他 の 事 項	☒ 目的外建物附属工作物1及び同2 ※別紙「土地建物位置関係図」記載のとおり

(注) チェック項目中の調査結果は, 「☒」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ C (占有者の子)	1 私は、所有者 A の伯母で本件土地上にある元牛舎や倉庫等（目的外建物、附属工作物 1、2）の所有者である B の子です。 B は高齢で体調が芳しくありませんので B に代わって私が調査に応じたいと思います。 2 畜舎（目的外建物）では、約 5、6 年前まで牛を飼っていましたが、その後、牛を別の場所へ移動させていますので、現在は本件土地上にある建物や工作物はいずれも使用していません。 3 本件土地上にある元牛舎や倉庫（目的外建物）は、父 B が 4、50 年前に建築した建物だと思いますが、具体的な時期は分かりません。 4 父 B と A は祖父と孫の関係にありますので、両者間で地代等のやりとりはありません。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

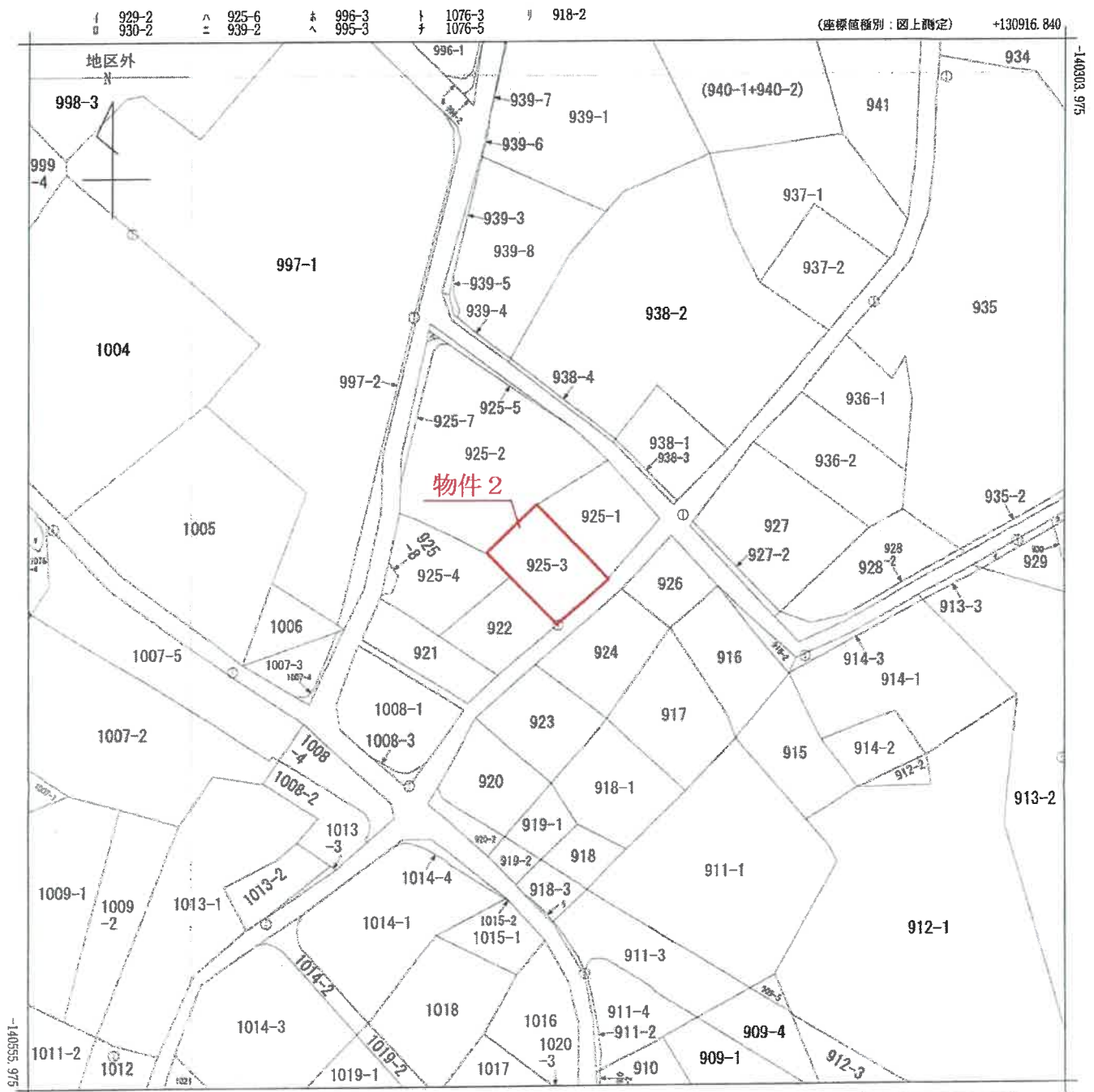
- 1 本件物件の状況は、別紙土地建物位置関係図及び添付写真のとおりである。
- 2 本件物件の占有関係は現場の状況、関係人の陳述等を考慮して本報告書のとおり認定した。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
6年8月9日 10:00-10:10	那覇地方裁判所執行 官室	農地照会 (6.9.5調査結果受領)
6年8月13日 10:00-10:10	那覇地方法務局	登記簿謄本入手
6年9月2日 9:50-10:30	物件所在地	立入調査、写真撮影
6年9月2日 11:30-11:50	占有者宅 (宮古島市下地洲鎌)	占有者の子と面談のうえ占有調査
年 月 日 : - :		
年 月 日 : - :		
年 月 日 : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

[公図写]



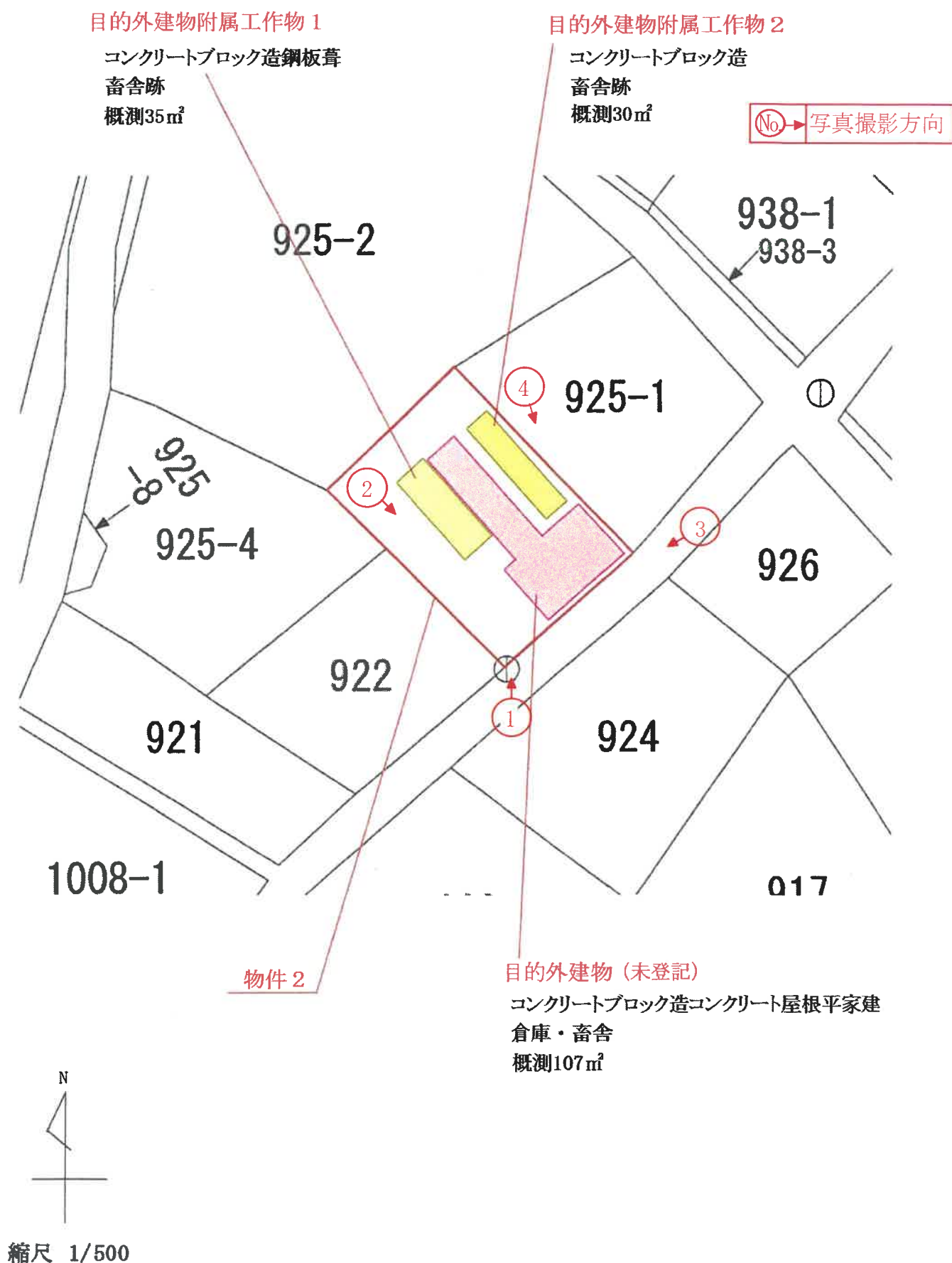
(注) 国土交通省国土地理院が公表した座標補正パラメータ(miyakojima2008.par)による修正がされています。

地番区域見出し
下地字洲鎌

請求部	所在	宮古島市下地字洲鎌ニシタナ子				地番	925番3			
出力縮尺	1/1000	精度区分	乙二	座標系番号又は記号	X VI	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月日	昭和45年2月				備付年月日(原図)	平成18年9月12日		補記事項		

A3→A4に縮小

[土地建物位置関係図]



目的外建物



1

物件2

畜舎跡(目的外建物附属工作物1)



2

物件2

目的外建物



3

畜舎跡(目的外建物附属工作物2)



4

副 本

令 和 6 年 (ヌ) 第 4 号
令 和 6 年 9 月 2 日現地調査
令 和 6 年 10 月 25 日評 価

那覇地方裁判所平良支部 御中

評 価 書

(物件2)

評価人 不動産鑑定士
伴 清 敬 印

第1 評価額

物件2(土地)	金 1,930,000 円
---------	---------------

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は、内覧制度によるほかは事前に物件に立ち入ることができないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容も、民事執行法58条4項に定める場合を除いて公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

1. 目的物件（土地）

番号	所 在 等	登 記	現 況
2	所 在 地 番 地 目 地 積	宮古島市下地字洲鎌ニシタナ子 925 番 3 畑 410 m ²	「特記事項」 記載のとおり
番号	特 記 事 項		
2	・数量については、現地の状況等により正確に確認できないが、登記所備え付けの地図と現地における状況が概ね符合するので、登記事項証明書記載の地積を採用して評価した。 ・農業委員会の調査結果では、「非農地」であるとのこと。 ・現況地目：雑種地		
住居表示		未実施	

2. 目的外建物

番号	所 在 等	登 記
目的外 建物	所 在 家 屋 番 号 種 類 構 造 床 面 積	宮古島市下地字洲鎌 925 番地 3 なし（未登記） 倉庫・畜舎 コンクリートブロック造コンクリート屋根平家建 概測 107 m ²
特 記 事 項		
・上記建物は、物件2を敷地として利用している。 ・外壁の一部が剥離し鉄筋が剥き出しになっているなど、相当に老朽化が進んだ建物である。 ・当該建物に隣接して、畜舎跡とみられる附属工作物あり。		

第4 目的物件の位置・環境等

1. 土地の概況及び利用状況等（物件2）

位置・交通 (道路距離)	最寄バス停「棚根」停の南東方道路距離約 400m（徒歩約 5 分） (別添位置図参照)	
付近の状況	受命物件は、宮古島の南西部、宮古空港ターミナルの南方約 5.9 km（直線距離）に存する。当該物件の近隣地域は、戸建住宅や農家住宅のほか畑等も混在する小規模な集落地域である。 なお、地域環境等が大きく変化する要因はなく、今後とも現状のまま推移するものと予測する。	
主な公法上の 規制等 (道路の幅員等の 個別的な規制を 考慮しない一般 的な規制内容)	都市計画区分 用途地域 建蔽率 容積率 防火規制 その他の規制	非線引都市計画区域 用途未指定 60% 200% なし 宮古島市景観計画
画地条件	地積：410 m ² 形状：ほぼ長方形 間口：約 16.5m 奥行：約 25m 地勢：概ね平坦地 その他：－	
接面道路の状況	南東側 幅員約 4m舗装市道(建築基準法第 42 条第 1 項 1 号の道路)	
土地の 利用状況等	物件2土地は、目的外建物の敷地として利用されている。 権利関係については「現況調査報告書」記載のとおり。	
供給処理施設 (前面道路の状況)	上水道 あり 都市ガス なし 下水道 なし	
特記事項	・現地調査及び官公署からの公表資料を調査した範囲では、土壌汚染をうかがわせる事実は認められず、また埋蔵文化財の存する可能性は低いと判断した。	

第5 評価額算出の過程

1. 基礎となる価格

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個 別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ≒(A)
2	8,890	1.02	410	0.90	3,346,000

ア 標準画地価格 基準地「宮古島(県)ー13」の標準地価格を規準として査定した。

$$\begin{array}{ccccccccc} \text{公示価格等} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 12,000 \text{ 円/㎡} \times & \frac{105}{100} & \times & \frac{100}{105} & \times & \frac{100}{135} & \div & 8,890 \text{ 円/㎡} \end{array}$$

*時点修正 : 公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

*標準化補正 : 1.05 (方位+3%、角地+2%)

*地域格差 : 街路条件 交通接近条件 環境条件 行政的条件 地域格差
 $1.05 \times 1.03 \times 1.25 \times 1.00 \div 1.35$

イ 個 別 格 差 : 方位 その他 個別格差
 $1.02 \times 1.00 \div 1.02$

ウ 地 積 : 登記面積。

エ 建付減価補正率 : 建物の状況及び建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

2. 評価額の判定

物件2が目的外建物の敷地となっていることから、その土地利用権等価格を控除し、更に競売市場修正等を施して下記の通り評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件	土地価格(円) ア(A)	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ÷(B)
2	3,346,000	0.10	場所的利益	335,000

イ 土地利用権等割合：土地利用権等を場所的利益と判定し、その割合を上記の通り査定した。

② 評価額

物件 番号	建付地価格 (円) ア(A)	土地利用権等 価格 (円) イ(B)	占有減 価修正 ウ	市場性 修 正 エ	競売市場 修 正 オ	評 価 額 (円) (ア－イ)×ウ ×エ×オ
2	3,346,000	335,000	1.00	0.80	0.80	1,930,000

ウ 占有減価修正：修正不要と判断した。

エ 市場性修正：目的外建物が存することから市場性の減退を考慮した。

オ 競売市場修正：第2評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

地価調査価格 宮古島（県）－13

所 在：宮古島市上野字上野ソバンメ 394 番 15

価 格：12,000 円/㎡（対前年変動率+20.2%）

位 置：「ヤーバル」停の北東方、道路距離 130m

価 格 時 点：令和 6 年 7 月 1 日

地 積：452 ㎡

供給処理施設：水道

接 面 街 路：南側幅員約 14m 国道、西側道

用 途 指 定 等：非線引都市計画区域

用途未指定（建蔽率 60%、容積率 200%）

地 域 の 概 要：一般住宅及び市営住宅のある住宅地域

第7 附属資料の表示

1 物件位置図

2 公図（写）

3 土地建物位置関係図

4 現況写真

（B I T用は位置図のみ添付。その他は現況調査報告書を参照。）

以 上

[位置図]

宮古島(県)ー13

物件 2



[scale:1/15,000]

沖縄県「地形図」